



RI会長 レイ・クリンギンスミス

第2790地区ガバナー

織田 吉郎

第5分区ガバナー補佐

佐野 昭雄

第5分区幹事

鈴木 照夫

第2790地区地区委員

広報委員会

勝浦RC

千葉 正徳

環境委員会

館山RC

吉田 政紀

R財団寄付金小委員会

鴨川RC

伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会 長

関 一憲

幹 事

中村 満

クラブ会報委員長

渡邊 ヒロ子

副委員長

渡邊 昌俊

委 員

牧野 利美

前田 安彦

関 正夫

奇藤 麻美子

9月3日(金)のプログラム

・ゲスト卓話

【勝浦市の水道事情

勝浦市水道課課長 藤平光男氏】

本日(9/10)のプログラム

10日(金)ゲスト卓話

【遠見岬神社 小林悠紀氏】

9月の例会プログラム

17日(金) 秋祭りのため休会

24日(金) ガバナー補佐訪問

クラブ協議会

会長挨拶 関一憲会長

先日、地区米山記念奨学会委員会セミナーに参加させていただきました。あらためてこの事業の素晴らしさを理解いたしました。二名の米山学友のスピーチを聞いて感じたことは、学友の皆さんは日本を好きだという事。事業発足当時の目的は、「将来の日本の生きる道は平和しかない。平和国家日本を世界に理解してもらうために、留学生を迎え入れ、平和日本を肌で感じてもらう。これこそ日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか。」という事でした。そして現在、年間800人。事業費14.6億の民間最大の奨学事業となっています。過去に支援した奨学生数は15776人、世界119カ国にも及んでいます。皆様一人一人のご寄付のお陰で、素晴らしい平和活動が行われております。その事にとっても誇りを感じます。



委員会報告

インターアクト委員会 岩瀬文夫委員長

第23回インターアクト国外研修

開催日：2010年9月10日(金)～14日(月)三泊四日

研修先：大韓民国 釜山市

参加者：県立勝浦若潮高校インターアクト生徒 浜口優芽

研修内容：釜山博物館、韓国伝統文化体験、韓国高等学校の生徒との交流



水島インターアクト顧問教師

メキシコから戻った浜口が、韓国研修に積極的に参加を希望しました。浜口は、皆様からの好意を無駄にせず頑張れる生徒ですので、よろしく願い致します。

浜口優芽さん

メキシコ留学で大変お世話になりました。

今回もどうぞよろしく願い致します。

おこずかいありがとうございます。



幹事報告 中村満幹事

・9月号のガバナー月信に会員報告にて手塚明宏(新会員)・

塩田会員(物故会員)が記載されました。

・9月のロータリーレートは86円です。

第5回理事会(2010年9月3日 開催)

参加者：会長・幹事をはじめ10名の理事・役員

協議事項：1. 10月の例会プログラムについて(案)

2. 一泊例会について(11月14日～15日/東伊豆「伊東」を予定)

3. 塩田会員の「偲ぶ会」10月5日を予定

4. ガバナー補佐公式訪問日のクラブ協議会の会議

委員会報告

国際奉仕 古川範男 前委員長

国際奉仕委員会の残務として、勝浦RCと縁のある二人の外国人の消息をお伝えしなければなりません。その一人はネパールの砂金村出身ですが、お盆にふらっと東京へ現れまして、この暑い中東京に出かけてまいりました。そして懸案でありましたソーラークッカー。ロータリーの支援で買った、太陽熱を利用してクッキングをするシステム。それを手渡しいたしました。9月の25、6日頃まで関西にいて関西空港からネパールに帰る予定のようです。で、もう一人。背の高い美形のチェリスト。ここでちょっと演奏したこともあり、卓話もしてもらいました。その後タンザニア、東アフリカのタンザニアという所にチェロを教えに行っていたのですが、彼女とも先日東京で会ったら元気元気。アフリカで恋人も見つけ、今年の11月に結婚するそうです。その後は、一年後くらいに日本に帰ってきて日本に二人で住みたい、ということでした。日本語でも『いたるところに生家あり』と言いますけどアフリカまで愛して、結婚するっていうわけですから彼女には敵いません。是非、皆さん彼女の幸せを祈ってあげてください。



ニコニコBOX (中村昇 親睦委員長)

配偶者誕生日 (8月20日) 鈴木亨 君

家内も健康でありますので、私も元気に頑張ろうと思います。



配偶者誕生日 (9月1日) 渡辺昌俊 君

誕生プレゼントに蘭の花を贈りました。



配偶者誕生日 (9月4日) 伊藤治昌 君

お祝いいただきありがとうございます。



自主申告 千葉正徳 君

こんにちは。地区委員になりましてちょうど三年目になりました。この中の7ページ8ページ、これは地区の広報ITの私の方で担当しまして、やっと絵になりました。鴨川ロータリークラブの会長の文面の勝浦のことが多少書いてありますので是非ご一読頂きたいと思っております。



自主申告 釜田英之 君

成田高校にはがんばって楽しませていただいたということ、また沖縄が春夏連覇でまた一つ感動をもらったということで二口いれさせていただきます。ありがとうございました。



自主申告 中村昇 君

今日は、ホームラン記念日ということで、昭和52年に巨人軍の王選手が756号を打った記念の日でございます。そんなわけで一口いれさせていただきます。ありがとうございました。



ゲスト卓話

ゲスト紹介 渡辺幸男 プログラム委員長

勝浦市の水道の始まりから現状、また今後の展望ということで、勝浦市水道課課長 藤平光男さんよりお話を頂きます。



『勝浦市の水道事情』勝浦市水道課課長 藤平光男氏

勝浦市の水道の始まりは、創設年度が昭和10年、給水開始が翌11年の8月。水源は東灘さんの裏方の堰でスタートしました。給水区域は串浜から勝浦の街中を中心にした漁港まで。歴史的に県水道と勝浦市の水道は一緒のレベルの古さです。スタート時は、1日の給水量が900m³、給水人口6000人という小さい規模でしたが、産業構造等、観光客の増加等により、今日に至るまで6回の拡張工事を行っています。計画能力では給水人口で25,500人、1日最大給水量が23,190m³ということで、現在の需要量に比べれば能力は倍近くあるのですが、施設効率は半分以下という状況に陥っています。なぜこんな風になってしまったのか？勝浦というところはまず水源がない。勝浦市は夷隅川しかないのですが、そこに頼るしかないのですが、これも農業用水とか水道用水に対しての権限、また、河川というのは河川維持流量がなければ河川として機能を果たさないで、もらえる量には限りがあります。そこで井戸を8本掘りましたが、1日に1500トンしか出ない。勝浦には地下水もない。浪花から勝浦に向かっての地層は泥岩層、お水を含まないものが多くて、結果的には井戸掘ってもお水が出ないというのが根源。拡張は進んでいても、さらに需要は増えています。



『勝浦市の水道事情』つづき ...

この解消をはかるため、18年度から水道料金 15.4%平均で値上げをし、予算で7億円とって、ほぼ計画通り進んでいます。現在では約80%という所まで回復しましたので投資した効果が出てののかなと思っております。

勝浦は漏水が多いのですが、給水方式の違いです。都市部は山とかありませんので、一定管圧のポンプ方式2.5キロくらいの圧力しかかかりませんが、勝浦市は高低差を利用した自然流下方式です。勝浦は武蔵大学の裏のタンクいっぱいに入りますと69mあります。そこから海岸線0としますと約7キロの圧力がかかります。3倍相応の圧がかかります。つまり、一回漏れ始めると大量が出てしまう。

年々河川の水質悪化しております。特に、今年は雨が降らなかつたために水の淀み出ます。墨汁のように(活性炭ですから元々墨ですが)なり、匂いが出たりします。普段より活性炭とかポリ塩化ビニール等が倍近く必要となりますが、あまり塩素を使っちゃいますと発がん性物質の誘発にも繋がりますので、浄水業務が年々厳しくなっております。このまま毎日暑い夏が続くようになれば、いずれは浄水方法を変えていく必要が出てくると心配してるのが実情です。

皆さんが一番気になる水道料金について。読売新聞にも八千代市の3倍だと出ましたが、あれは事実です。人口が多い方が安くなる。勝浦がトップですが、手前に42の水道事業者がございます。第3位が鋸南町です。4位が大多喜町、鴨川市が8位。夷隅市は17位です。夷隅市がどうしてこんなに順位が低いのかというと、税金の投入が多いからです。勝浦市は水道料金に対して税金を一切投入してません。そういう中での料金格差です。

自前の独立財産でやってるのは勝浦市と鴨川市だけです。あとは何らかの格好で県から補助金が出ております。

勝浦市では来年度から新しい総合計画がスタートします。その中で水道事業の位置づけも明記されております。

それで私どもも20~21年度の2年を駆けまして水道ビジョンと、それに伴う『水道事業計画』これを立てました。



次に、浄水場の高度処理化問題。それを含めまして全部やりますと16億くらいかかる予定です。

ただ10年間の中で、今の料金体系のまま大丈夫かと言われると、全く三角マークです。

私どもが立てた計画の中でいきますと平成27年ぐらいまでにはなんとかかなるかなと。でもそれ以降で浄水場の処理施設に取り掛かってくると今の料金では無理だと、そういう事業予算の試算も出ております。

千葉県の水産課では県内の水道のあり方についてと水道料金の是正に動いております。と申しますのは、料金を均一



化するという事は、安いところが高くなって、高いところが安くなる、誰かが得して、誰かが損しないといけない。

勝浦市とすれば、単価が安くなりますが、八千代市の様に是正によって高くなる市町にとっては『承知できない』と反対意見も多くあります。

揉めたままの状況で、時だけが過ぎてしまうかもしれないと懸念されますが、県の考えに期待したいところです。

勝浦RCゴルフコンペ

8/22(日)に勝浦東急ゴルフコースにてゴルフコンペを行いました。炎天下の中でしたが、みな楽しくラウンドできました。優勝者は池田哲夫君、他の結果は下記の通りでした。

		OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	池田哲夫	43	45	88	21.6	66.4
準優勝	牧野利美	44	45	89	14.4	74.6
三位	渡邊嘉男	45	42	87	12.0	75.0
	西尾 誠	52	47	99	24.0	75.0
	君塚七郎	43	47	90	12.0	78.0
	高梨薫敏	43	45	88	7.2	80.8
	関 祐介	47	41	88	2.4	85.6
	渡邊ヒロ子	59	53	112	21.6	90.4

出席報告 9月3日(金)出席委員会(関祐介委員長)

会員	出席	MU	欠席	出席率
43名	31名	4名	8名	81.40%